

《長崎新聞 平成23年9月26日朝刊より転載》

【質問】 近い将来、がんの治療にパスという方法が用いられるとの報道がありました。詳しく教えてください。

(63歳・自営業男性)

がん治療の「パス」

【回答】 パスとは「クリティカルパス」のことで、ある病気の治療や検査の標準化されたスケジュールを表にまとめたものです。患者は今後の検査や治療計画について知ることができるので安心です。また、このパスに沿って診療することにより、医療が標準化され、一定の質が保たれます。パスには病院内だけで使用するパスのほか、病院と

病院、診療所連携で安心

診療所の連携の手段として地域の医療機関で広く用いられるパスがあります。その「がん地域連携パス」は、がんの専門的な診療は専門病院で、通常の健康管理は地域のかかりつけ医で行う役割分担の治療計画書

院で病状のチェックを受けます。医療機関が情報を共有して効率的な医療を目指すことができます。地域連携パスは、病院やかかりつけ医の診察、問診、検査、投薬、副作用などが記載される計画書、患者の病歴を記録した患者情報、

るのは、比較的初期のがんです。専門病院での初期治療が終わり、病状の安定した患者で、経過観察だけか、経口の抗がん剤を服用するだけで良い方になります。がん診療の質の向上を目指して2007年4月、がん対策基本法が制定されま



です。通常は定められたスケジュールでかかりつけ医にかかり、定期的に専門病

日常生活の過ごし方や連携パスの意義などの患者向けの説明書などで構成されます。これらをまとめたファイルを「私のカルテ」と呼び、患者が保管し医療機関を受診する際に携行します。地域連携パスの対象とな

情報共有で効率的

した。その中でがん診療の専門病院としてがん診療連携拠点病院が指定され、同病院を中心として、乳がん、胃がん、大腸がん、肝がん、肺がんの五大がんについて地域連携パスを整備することがうたわれました。本県では8カ所のがん診療連携拠点病院が指定されていて、12年4月から地域連携パスが供用される予定です。地域連携パスを利用した患者には自分の治療計画の長期展望を持てるなど多くのメリットがあります。がん地域連携パスが広く利用され、がん患者が安心して治療を受けられる体制が整うことが期待されます。

(県医師会)

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。